

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年5月8日（月） 19時30分～21時
開催場所	中央公民館
参加市民数	19人
出席議員	大眉 均(班長) 初田 稔(司会) 加岳井茂 中尾司郎 大西秀樹 松原久美子 古田寛明 草間 透(記録)
市民からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度一般会計補正予算（第4号）の市議会に説明が遅れた理由を再度お願いしたい。 ・今回の事象は議会軽視も甚だしい。地方自治法が制定されてから今年で70年を迎えるが、議会と当局は車の両輪と言いながら市民から選ばれた議員の存在を軽視されてはいけない。 ・今回の補正予算は結果的に承認されたことは議会がなめられていると言わざるを得ない。 ・市からの提案にすべて賛成する会派がある。違和感を感じるし見解をお聞きしたい。 ・行政のうその説明に対し物事が決まっていく経過を論じたい。議員は支持者の意見を聞いているのか疑問を感じる。 ・今後人口が減少し財源が減少する中での予算に対しその成果を検証しているのか。例えば三木鉄道の廃止に伴う代替交通が当初の計画からかなり膨らんでいる。費用対効果の検証をお願いしたい。 ・バス交通で北播磨総合医療センターへの補助金が往復で9000円と聞くが、「乗り合いタクシー」の利用は考えないのか。またデマンド交通の説明を。 ・バス事業者の神姫バスの契約期間と補助は永遠に行うのか。 ・広報の説明文で専門用語とかカタカナ用語については注釈が欲しい。 ・高齢者の免許返上を促進されているが代替の交通手段の確保（経路・本数）を望む。 ・行政の「うそ発言」2件 <ul style="list-style-type: none"> ① 9月の「みきっ子未来応援協議会」の席上で国からの交付金の有無を問うたが「まだ決定していない」という返答。 ② 以前のバス交通の説明会で補助の上限額を4億円とあったが29年度ではオーバーしている。 ・予算・決算の採決で会派での不統一があるが審議した結果なのか不思議な現象と言わざるを得ない。 ・障がい者福祉に関して女性に対する差別を感じる。また雇用

	の拡大を要望する。現状では他市へ行かざるを得ない。議員は障がい者の立場に立って考えてほしい。
その他 特記事項	・参加者の問いに対し議員の答弁が高圧的であり不快感を感じる。知識としては議員の方が優れているが一方的な発言では報告会の参加意欲が削がれてしまう。

上記のとおり議会報告会を開催いたしましたので報告します。

平成29年5月15日

三木市議会議長 様

第2班 班長 大眉 均 ㊟